



社会福祉
法人

一人ひとりに愛と希望を

九十九里ホーム

第 22 号

平成24年 8月10日発行

ひとつぶの麦

社会福祉法人

九十九里ホーム

〒289-2147

千葉県匝瑳市飯倉21番地

TEL 0479-72-1131(代)

<http://www.99-home.com>



(聖マーガレットホーム 澤田 明江さん)

**わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、
わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。
— 新約聖書「コリントの信徒への手紙二 第4章16節」—**

聖マーガレットホーム入所者の澤田明江さんがスティックをくわえてパソコンで今回描いてくださったのは、大海を親子で泳ぐクジラです。

クジラの中でもシロナガスクジラは地球上最大の生物として知られています。体は地球最大ですが、主食はオキアミと実に小さな生き物です。彼らは小さな生き物を沢山食べて、大きな体を維持しています。

聖書の中で「内なる人」という表現があります。目に見える「外なる人」はある時に成長が止まり、やがて衰えます。しかし「内なる人」は「外なる人」と違ってまだまだ成長する可能性をもっています。そこで栄養となるのは、様々な出来事であったり、出会いであるでしょう。一つひとつは小さなことであっても、その一つひとつの事柄が私たちの「内なる人」をはぐくみます。

日本聖公会八日市場聖三一教会 管理牧師
九十九里ホーム チャプレン 司祭 ルカ片山 謙

一地域の高齢者の皆様が安心して 生活ができるサービスを目指して一 特別養護老人ホーム第二松丘園新館がオープンしました。



第二松丘園新館外観

横芝光町と当法人が協力して取り組んでまいりました特別養護老人ホーム第二松丘園新館の工事は順調に進み、3月30日に多くの来賓の皆様と当法人職員により奉獻式を執り行い、4月1日からサービスを開始いたしました。

新館は1階にはデイサービスセンター（一般・認知症）・グループホーム（2ユニット18床）地域包括支援センター・夜間対応型訪問介護事業所、2階は、特養入所50床（内個室ユニットケア10床）・ショートステイ20床となります。

本館と新館とは1階の開放廊下でつながり、職員は本館、新館一体で業務を進めることが出来ます。

また、新館は窓も多く明るく開放的で、グループホーム側の中庭にはシンボルツリーのヤマボウシの木を中心に芝桜やギボウシが植えられ、利用者の方が自由に眺めることが出来ます。デイサービス側の中庭はウッドデッキになっており、レクリエーションなどに使用することが出来ます。駐車場側には河津桜・ソメイヨシノなどの木々が植えられ、季節の花々を利用者の皆様に楽しんでいただけたらと思います。

利用者の皆様が今までの環境と変わりなく、ゆったりとした空間で静かに時が過ぎ、幸せを感じていただけるような施設でありたいと思います。

在宅の高齢者の方へも、地域包括支援センター、ショートステイ、デイサービス、夜間対応型訪問介護など、在宅で安心して生活していただけるサービスを提供いたします。第二松丘園新館には、当法人の他の施設にはないサービスもあり、地域の皆様に満足していただけるような施設作りを心掛けてまいります。



デイサービスセンター側のウッドデッキの中庭

●提供サービス

- 特別養護老人ホーム
入所 50床（内個室ユニット
ケア10床）
ショートステイ 20床
- グループホーム
18床（2ユニット）
- デイサービス
定員30名（一般20名・認知症
10名）
- 横芝光町地域包括支援センター
- 夜間対応型訪問介護

●連絡先

- 住所
〒289-1727
千葉県山武郡横芝光町宮川
12103番地 1
- TEL
0479-84-3969（代表）
- E-mail
daini-matu@poppy.ocn.ne.jp



車椅子のまま入浴できる浴槽



食堂でくつろぐグループホームのご利用者

地域密着型特別養護老人ホーム瑞穂園開設

地域密着型特別養護老人ホーム瑞穂園は、平成23年11月1日に開設し、約9カ月が経過いたしました。入所定員は29名と、当法人の中では小さな施設です。入所された皆様も、新しい住まいにだいぶ慣れてこられました。活動面としては、日々の暮らしを彩る季節の行事を行いながら、お天気の良い日には、近隣散策にも出かけ田園風景を楽しんでいます。また、隣接する養護老人ホームの入所者との交流やクラブ活動を行っています。

そして、地域密着型施設として、地域住民の方に地域運営推進委員に就任していただき、2ヶ月に一度、施設の活動状況についてご意見を伺っています。今後も地域に開かれた施設として、皆様に活用していただけますよう努めてまいります。



特養瑞穂園全景



フラダンスでリハビリ

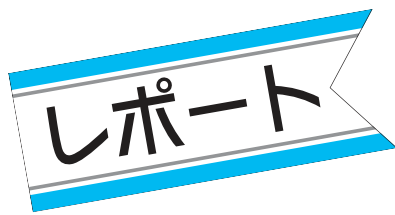
瑞穂園デイサービスセンターは、平成24年1月1日に利用定員25名で開設いたしました。建物は木のぬくもりを感じ、ゆっくりと寛いでいただけるようになっていきました。特徴としましては、季節を彩る草木の眺望を楽しみながら、広い浴室での個別浴、利用される一人ひとりのご希望に添えるようリハビリ、レクリエーション、趣味の活動を通し豊かな時間を過ごしていただけますように、様々なメニューをご用意しております。現在は月～土曜日に営業していますが、1日約10名の方にご利用いただいております。ご利用を希望される方は、担当のケアマネジャーにご相談いただくか当施設にお問い合わせください。



ゆっくりと入れる個別浴

<連絡先>

- 住所
〒289-2142
千葉県匝瑳市八日市場二81番地3
- TEL
0479-73-4333 (代表)
- E-mail
mizuho.99h@lake.ocn.ne.jp



東日本大震災への支援（続報）

専門性を活かした被災地でのボランティア活動

九十九里ホーム病院の診療放射線技師である都祭広一氏は、厚生労働省より日本放射線技師会を通じた要請に応じ、昨年12月31日から翌1月1日の2日間に渡り、福島原子力発電所内の診療所にて、原発作業員の健康管理のための活動を行ってきました。主な活動内容は、診療所内、敷地内および救急車両の放射線測定、スタッフの被ばく管理などです。また、放射線医学総合研究所（千葉市）や福島大学等6ヶ所をインターネットで結んだWeb会議に同席し、緊急被ばく医療や除染業務の国の指針に生かすため、医師、技師、看護師などそれぞれの立場で意見交換を行いました。診療所室内は、外部からの放射性物質を防ぐため、常に陽圧状態で湿度も18%とかなりの乾燥した状態だったそうです。

次の担当者への引き継ぎを終え、いわき駅へ向かう帰りの車中から見た緑豊かな福島の自然は、そこに人が住んでいないことが奇異に感ぜられるほどまぶしい景色だったとのことでした。また、一番印象に残ったことは、原発のガレキの間から仰ぎ見た元旦の初日の出。真っ赤に燃え上がる火の玉のように、必ず復興するあすの日本を確信させてくれる迫力と感動のひと時だったそうです。

また、聖マーガレットホームの中村清美さんは、3月11日から18日まで岩手県陸前高田市にて、仮設住宅の高齢者や障害者の方の入浴介助のボランティア活動に従事しました。今、必要なことは、私たちが被災地のことを忘れないことと、復興と共に人とふれあい、つながっていくことだと強く感じたそうです。また、入浴支援の活動を通じて、改めて自分が介護の仕事が好きなのを感じ、利用者のために介助し、支援する大切さと介護の原点に戻れ、大変有意義なボランティアであったとのことでした。



放射線を計測する都祭技師（左）

特産品購入で福島県を応援



福島からりんご到着

「丹精込めて育てたリンゴが、風評で被害を受け販売できない・・・」そんな福島のりんご農家の痛切な訴えを受けて、当法人では、職員を中心に福島県の特産品の支援販売をいたしました。また、福島物産交流協会を訪問し福島の物産を直接仕入れ、「がんばる叵瑳！復興駅前市場」にて来場者へ販売し、併せて福島県の観光PRも行いました。

第3回がんばる匠！駅前市場盛大に開催

東日本大震災一周年を迎えた平成24年3月10日、11日の両日、JR八日市場駅前市有地広場にて「第3回 がんばる匠！まちづくり駅前市場」が開催されました。

このたびの震災は、各地で大きな傷跡を残しここ匠市も例外ではなく、地盤の液状化等によりその影響は今でも深刻な問題となっています。

今回の駅前市場では匠市民の元気を内外に発信することにより、日本の震災復興を

援するべく当法人もその企画当初より関わらせて頂きました。当日は会場いっぱいに30を超えるテントが立ち並び、被災地東北よりの出店による物産品の販売も行われ、特に今回は復興なべを各主管団体に趣向を凝らし販売することとなりました。当法人では、管理栄養士が中心となって「地元野菜の湯麺（タンメン）汁」を販売、用意した300食を完売することができました。また、聖マーガレットホームからは、ご利用者が作ったクラフト品や花苗を販売いたしました。震災発生時刻の午後2時46分には全員で黙とうが行われ、太田市長より全国へ向けて復興への熱いメッセージが発信されました。また、当日の司会進行では当法人初の女性アイドルユニット(?) “つくも99SP (ナイナイスペシャル)” が吉本興業所属のお笑い芸人 “ゴールデンボーイズ” とともに場内を沸かせ、被災地復興を祈念した匠市名物のお神輿渡御が披露される時には、まさに来場者全員が一体となり、無事閉会することができました。当法人では今後も復興支援活動を継続して参ります。



迫力の“つくも99SP”のステージ

建築物省エネ改修推進事業

各施設にて改修工事を行いました

当法人では、国土交通省の建築物省エネ改修推進事業に応募し、採択されました。山田特別養護老人ホーム（平成22年12月）、聖マーガレットホーム（平成23年6月）、日向の里（平成24年5月）に、省エネエアコン、複層ガラスの改修工事を行いました。

昨年の震災の影響もあり、一部工事期間が伸びるところもありましたが、無事工事を終えることができました。

省エネエアコン、複層サッシにより、空調効率をあげることができました。節電とCO₂削減を図ると共に、利用者の方々へより良い生活環境の提供を目指してまいります。



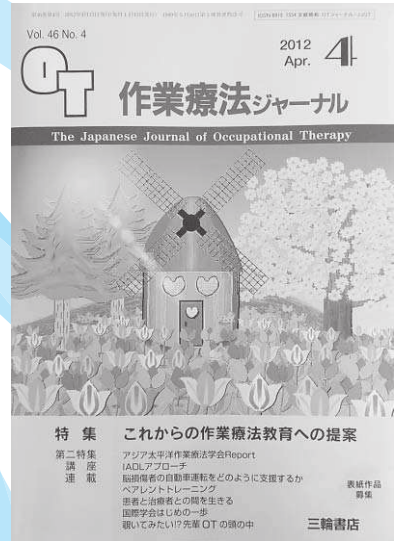
複層サッシの設置工事（日向の里）

聖マーガレットホーム入所者

白井啓子様の絵が専門誌の表紙に選ばれました。

聖マーガレットホームに入所している白井啓子様は描いた絵が作業療法ジャーナル4月号（三輪書店）の表紙に選ばれました。白井様は子供のころからテレビアニメが好きで、コンピューターグラフィックスをプログラミングすることが夢になり、その夢をかなえたくて絵を描くようになりました。作品は布団に横になりながらパソコンで描きます。マウスやタッチペン等のスティックを上手く使用できないので、作業療法士に相談しパソコンの設定をしてもらいキーボードの矢印キーを使用して絵を描いています。

白井様は、「私の絵が本の表紙になり、私より家族や周りの人の喜び方がすごくて、その反応についていけない感じです。絵だけが一人歩きしているみたいですね。『春うらら』は春らしいイメージが浮かび、描いた絵です。風車の窓、キュートなハートがポイントです。光と影にこだわり風車小屋を立体的に描くの何度も描き直し、他の人のアドバイスも取り入れてできた作品です。」と感慨深げに語っていました。



ご支援ありがとうございます ボランティアのご紹介

伊藤 美千世様（九十九里ホーム病院、聖マーガレットホーム、松丘園、九十九里ホームデイサービスセンター）

九十九里ホーム病院病棟2階にて、毎月第4月曜日に、歌、ピアノ演奏をしてくださっています。歌集を作りその中からリクエストを募り、一緒に歌ったり、歌にまつわるエピソードを語りあったりしてくださいます。九十九里ホーム病院病棟2階、聖マーガレットホームには、コーラス「奏」と共に、1年に1～3回訪問して下さっています。また、松丘園、九十九里ホームデイサービスセンターには、コーラス「いちよう」と共に年2回訪問して下さいます。クリスマス会では入院患者様だけでなく、お見舞におとずれた方々も足を止めて聞きいってあり、利用者、職員始め、多くの方が楽しみにしています。

伊藤様は、「九十九里ホームではじめての演奏は、聖マーガレットホームでした。あ

れから10年、私自身、皆様からたくさん笑顔、励まし、ときには一緒に涙し、

時間ですが共有してこれたことをうれしく思っています。これからも出来る限り足を運び、皆様と楽しい時間をすごせたらと思っています。」との言葉をいただいています。



ピアノ演奏をしてくださる伊藤様

<問い合わせ先>

特別養護老人ホーム松丘園 相談員 山本

TEL 0479-73-2115

新入職員研修会を開催しました。

当法人が例年行っている新入職員研修会を、本年も4月14日(土)、15日(日)に実施いたしました。今回は第二松丘園新館のオープンや診療報酬、介護報酬の改定など慌ただしい時期でしたが、無事終わることができました。第二松丘園新館と特養瑞穂園開設に伴う職員の採用もあり、例年を大幅に上回る98名の職員が参加し、会場となった開設間もない第二松丘園新館デイルームは、熱気にあふれていました。



主な研修内容は、井上理事長の「九十九里ホームの歴史と未来」、江波戸専務理事の「社会人としての一般常識」など業務を行うにあたっての基本的知識に加え、昨年行われたコンサルタントの佐藤初代さんの接遇研修も実施しました。2日目は、午後に各施設の相談員・介護長が担当した「グループの目標を作ろう」という内容のグループワーク

が行われ、話し合われた目標が各グループより発表されました。最後に、研修の感想が述べられ、2日間にわたった研修は無事終了しました。研修に参加したどの職員も非常に熱心な態度で臨み、レポートもきちんと書き上げ、今後に大きな期待をもてました。

平成23年度接遇研修に多くの職員が参加

当法人職員を対象とした接遇研修が、松丘園機能訓練室を会場として平成23年7月から9ヶ月間にわたり行われました。「マナーは愛、接遇の基本」に始まり、平成24年3月の「接遇基本総復習、試験」に至るまで、研修への参加人数は延べ2029名にのぼりました

当研修の講師には、ソフトサービス・カン

パニーの佐藤初代氏を招き、「接遇とは何か？」その持つ意味から、ロールプレイングを交えながらの実践的な研修など多岐に渡りました。普段使い慣れない言葉づかいや、電話の対応では、受け方、切り方、と細かい部分まで指導していただきました。参加型の内容が多く緊張のためか研修時間も短く感じ、また今ま

で行ってきた対応の良い面や悪い面を実感として感じることができました。

医療、福祉の現場では対人対応力の良否が注目されており、今回の研修で学んだことを活かし、利用者、家族の方が、職員の対応にサービス心に欠ける態度や冷たい感じを受けることのないよう心がけてまいります。研修の冒頭にあった「マナーは愛、接遇の基本」を忘れることなく、職員一人一人がこれらを十分に意識して職務に従事することで、利用者、家族の方により満足していただけるよう努めてまいります。



お囃子同好会頑張ってます！

平成7年に誕生した九十九里ホームお囃子同好会では、当法人内各施設で行われる夏祭りでお囃子を演奏、ご利用者の皆様方にお祭りの躍動感を楽しんで頂いております。また地元匝瑳市の祇園祭への参加や、各種イベントでのお囃子演奏等、地域交流を積極的に行っています。練習は定期的に行い、地元囃子連の師匠方のご指導とボランティア様のご協力を得て、日々レベルアップに精進しています。

先日も第二松丘園新館の完成記念式典でお囃子披露を行い、今や当法人内のイベントには欠かせないお囃子同好

会。会員一同、更に頑張っていますので、今後ご期待下さい。



助成・寄贈

千葉県の補助金で 非常用発電装置を改修

千葉県の補助金により、非常用発電装置の改修工事を行いました。地震や台風等の災害時の停電の際の予備電源として活用させていただきます。



NHK 歳末たすけあいより寄贈

山田特別養護老人ホーム

NHK 歳末たすけあいの受配品として、千葉県共同募金会を通じて、オムツ交換車(さわやかもちゃん)を寄贈していただき、ありがとうございました。入所者の皆様のスムーズな排泄介助のために有効に活用させていただきます。



千葉県共同募金会より寄贈

聖マーガレットホーム



千葉県共同募金会より除湿機、加湿器、ファンヒーターを頂きました。それぞれ利用者の方が快適に生活していただけるよう役立て、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

千葉県共同募金会より除湿機、加湿器、ファンヒーターを頂きました。それぞれ利用者の方が快適に生活していただけるよう役立て、大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

銚子法人会より車椅子の寄贈

松丘園

銚子法人会より、リクライニング式の車椅子1台、ティルト式タイプの車椅子1台を寄贈していただきました。



入所者様が、安全で楽な姿勢で移動できるよう大切に使用させていただきます。

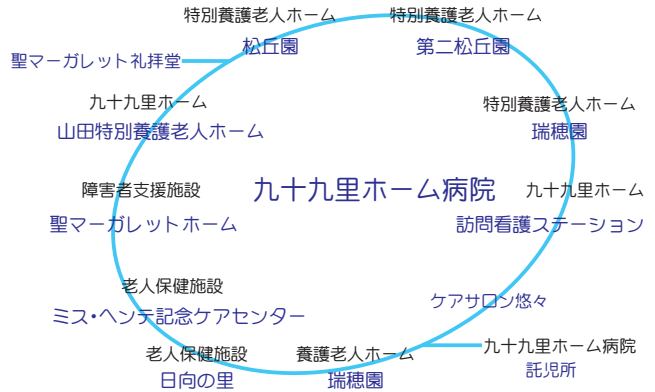
がんばろう千葉



チーバくん

当法人は
「がんばろう！
千葉」
応援隊に参加
しています

九十九里ホームネットワーク



より良い在宅ケアのお手伝いをいたします

～九十九里ホームのデイサービス・デイケアのご紹介～

九十九里ホームでは、寝たきり、経管栄養をしている、認知症で目が離せないなど要介護度の重い方、自宅に閉じこもりがちなので地域の方と交流する場がほしい方、リハビリを継続的にやりたい方など、様々なニーズにあったデイサービス、デイケアを提供しています。九十九里ホームのデイサービス、デイケアをご利用してみたいかがですか。

九十九里ホームのデイサービス・デイケアのネットワークです。
ご利用のお申し込みやお問い合わせは以下のところまでお願いいたします。

デイサービス

ケアサロン
悠々

匝瑳市八日市場イ2804-3
TEL 0479-73-7116

九十九里ホーム
デイサービスセンター

匝瑳市飯倉19番地1
TEL 0479-73-2115

瑞穂園
デイサービスセンター

匝瑳市八日市場二81番地3
TEL 0479-73-4333

障害者・要介護高齢者向け
デイサービス

聖マーガレットホーム

匝瑳市高野583番地1
TEL 0479-79-1905

第二松丘園
デイサービスセンター

横芝光町宮川12103番地1
TEL 0479-84-3969

九十九里ホーム
山田デイサービスセンター

香取市大角1545番地16
TEL 0478-70-7171

デイケア

老人保健施設
ミス・ハンテ記念ケアセンター

匝瑳市飯倉20番地
TEL 0479-73-2115



デイケア

老人保健施設
日向の里

山武市木原2100番地
TEL 0475-88-1980